

芽室町 ← 揖斐川町 小学生交流

揖斐川町は北海道芽室町と友好都市提携を結んでいます。そのつながりから、小学生同士が互いの町を行き来する交流が、毎年夏休みに行われています。今年の様子をお届けします。

芽室町 ↓ 揖斐川町

7月29日(火)～8月1日(金)



▲瑞巖寺で座禅体験の様子

7月30日(水)、芽室町の小学生派遣団14名が町長を表敬訪問しました。芽室町児童は町の職員への質問を通し、揖斐川町の理解を深めました。

派遣団は、町内のお寺や徳山ダムなどを訪問したり、地元の食材を味わったりと揖斐川町の自然、歴史、文化に触れました。

また、小島小学校の児童や、8月に芽室町へ派遣される揖斐川町の代表児童と、互いの町や学校についての発表やレクリエーションを通じて親交を深めました。

揖斐川町 ↓ 芽室町

8月18日(月)～22日(金)

揖斐川町からは小学6年生の児童12名が芽室町を訪問しました。

岐阜県人会の方々による農業体験やコーンの加工工場見学、牛の搾乳体験、ふるさと歴史館見学などを通して芽室町の魅力を感じました。めむろ子どもセンター「あいらす」では、現地の児童と互いのまちについて発表したり、レクリエーションを行ったりして交流しました。派遣児童は4泊5日でたくさんさんの経験を積み、笑顔で帰町しました。

派遣児童は、11月に開催予定の青少年育成町民会議で活動報告を行います。次に、一部ですが児童の感想を紹介します。



▲芽室町の小学生との交流

研修の主なスケジュール

- 18日 ・ホームステイ
- 19日 ・農業体験
・明治(株)工場見学
- 20日 ・芽室町長表敬訪問
・搾乳体験
・めむろ子どもセンター訪問
・ふるさと歴史館訪問
- 21日 ・まちなか歩き
・日本罐詰(株)工場見学

ご当地グルメ
「コーンチャーハン」
も食べたよ！



▲牛のえざやり

児童の感想

・ホストファミリーとドライブした時、道路が一本線でずっと先まで長くおどろきました。

・畑が広くてびっくりしました。じゃがいも掘りをしたときに、やってもやっても一歩しか終わらなくて、写真ではわからないほど広いことを実感しました。

・ホームステイ先の方にとってもやさしくしていただきました。揖斐川町とは違った広い畑や、涼しい気候が印象に残っています。

・様々な施設でたくさんの方と交流でき、人と話す力が身に付きました。



▲大型トラクターで農業体験

子ども会リーダー研修会を開催しました

揖斐川町子ども会育成指導者連絡協議会主催で「子ども会リーダー研修会」を月夜谷ふれあいの里で開催しました。

この研修は、町内小・中学校から応募のあった児童生徒が野外活動を通じて、参加者相互の親睦とリーダーとしての自覚を深めていただくために開催されました。

参加された19名の皆さんは、小川の中に入って「マスつかみ」を行い水や魚の感触を楽しみました。また昼食に各自でピザを作り、捕まえたマスを施設の方に焼いていただきおぼりました。

参加した児童生徒は「マスをつかむことは思ったよりたいへんだった」「(マスを)いたたくことを大事にしようと思った」「仲間と行動することの大切さを学び、自然を感じる事ができた」と感想がありました。

学校・地域のリーダーとして、今後活躍されることを期待しています。



▲マスつかみ



▲参加したみなさん

大垣キワニスクラブがいびがわアップルにキワニスドールと知育教材を寄贈

大垣キワニスクラブより、発達に心配事がある子どもの支援に役立ててもらおう、揖斐川町の児童発達支援事業所(いびがわアップル)に「キワニスドール」と知育教材が寄贈されました。「キワニスドール」は、白無地にポリエステル綿を詰めた人形で、自由な発想で顔を書いたり、飾りをつけたりすることで、療育の現場においても大いに活用できると期待されます。

贈呈式で大垣キワニスクラブの野口会長は「様々な活用方法があると思うので、子どもの成長・発達にお役立てください」と話しました。いびがわアップルでは、頂いたキワニスドールや知育教材を有効に活用して、個々のお子さんや保護者に寄り添った取り組みを進めます。



▲贈呈式の様子

「パーソナル知育絵本」のプレゼントを開始しました

令和7年4月1日以降に乳幼児健診を受けられたお子様を対象に、揖斐川図書館から「パーソナル知育絵本」のプレゼントが始まりました。

この絵本は、主人公がお子様の名前で登場し、お子様の好きなものや保護者のメッセージを組み込めるもので、世界にひとつだけの絵本と呼ばれており、親子のコミュニケーションを楽しむことができます。プレゼントを受け取っていただくには、乳幼児健診で配布される絵本注文チケットを使用し、お申込みください。

※対象の乳幼児健診：乳児(4か月児)、1歳6か月児、3歳児健診



▲名前入り絵本を読む親子

清水交差点に信号機が設置されました

8月19日(火)一般県道本庄揖斐川線の開通で交通量が増加したことから、地域住民からの要望を受け清水地内の交差点に信号機が新設されました。

これにより渋滞の解消や歩行者の安全性が向上しました。

なお、清水野田信号交差点の信号機に伴い、清水野田信号交差点の信号機と横断歩道が廃止となりました。通行の際は十分に注意をしてください。

今後も交通ルールを守り、事故のない安全で安心な町をつくりましょう。



▲新しい信号

第11回水から学ぶイビデンツアーを開催しました

イビデン株式会社主催、揖斐川町教育委員会共催のもと、「第11回水から学ぶイビデンツアー」が開催されました。これはイビデン株式会社が所有する東横山水力発電所を小学生に見学してもらい、水力発電所と生活のつながりを学んでもらう機会として企画されました。

参加された町内小学生4～6年生21名は、地域交流センターはなもでも約30分の座学を受けた後、バスで現地に移動しました。現地ではイビデン社員による説明を聞きながら発電所内や設備の見学を行いました。また午後からは太陽光で動くロボットの工作をして楽しみました。

児童は運転開始から104年経過する施設の偉大さを感じながら、身の回りに使われる電気の発電方法や送電の仕組みを学んで満足していました。



要望活動の実施について

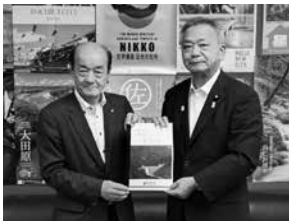
8月27日、岡部町長が、財務省、国土交通省、農林水産省、水資源機構および地元選出国會議員へ要望活動を実施しました。

《要望内容》揖斐川堤防整備事業・越美山系砂防事業・木曾川水系連絡導水路事業・町道、林道、治山事業など公共事業の予算確保・事業推進等

《主な要望先》財務省主計局片岡主査／国土交通省高橋副大臣／国土交通省水管理・国土保全局林局長／国土交通省道路局石和田次長／農林水産省林野庁齋藤森林整備部長／水資源機構金尾理事長／棚橋衆議院議員／渡辺参議院議員／若井参議院議員



▲水資源機構 金尾理事長



▲国土交通省 高橋副大臣



▲林野庁 齋藤森林整備部長

地域鉄道（養老線）への支援を国に要望しました

8月28日（木）、岡部町長が、養老線沿線市町（大垣市、桑名市、海津市、養老町、神戸町、揖斐川町、池田町）の首長と共に、国土交通省、財務省へ要望活動を実施しました。

《要望内容》社会資本整備総合交付金の所要額の確保・地域鉄道の車両更新に対する支援制度の拡充・地域鉄道の持続性確保への支援

《要望先》国土交通省 高橋副大臣・岡野総括審議官・五十嵐鉄道局長／財務省 東政務官



▲高橋克法国土交通副大臣